

ルクセンブルク大公国 政治・社会情勢（2016年9月）

<ポイント>

【外交・EU】

- 当国のメディアにおいて、9月13日付ドイツのディ・ヴェルト（Die Welt）紙に掲載されたアッセルボーン外相がハンガリーを非難したインタビュー記事に対し、各方面から非難が寄せられた。
- 19～23日ベッテル首相は、ニューヨークで行われた第71回国連総会に出席。
- 27日に行われたブラティスラバ非公式首脳会合の準備に際し、ベッテル首相及びアッセルボーン外相がEU諸国の要人と関係諸国及び当国において協議を進めた。

【社会・大公宮】

- 12日、当国において初めての無償の公立国際学校（小中高課程）が南部のDifferdangeに開校。

1 外交・EU

- 1日 ベッテル首相は、ドナルド・トゥスク欧州理事会議長と16日にブラティスラバで行われるEUの将来に関する非公式首脳会合の準備のため会談を行った。

アッセルボーン外相は、パリで行われた仏国大使会議に出席。その後、ドイツ・ポツダムにて行われた欧州安全保障協力機構（OSCE）の非公式外相会合に参加。

- 2～3日 アッセルボーン外相はブラティスラバにてEU外相会合に参加した。主な議題は、EUとトルコの関係、ウクライナのミンスク合意。

- 6日 アッセルボーン外相は、トルクメニスタンを訪れベルディムハメドフ大統領への表敬とメレドフ外相との二国間会談及びサトルィコフ運輸・通信担当副首相との会談を行い、「サ」運輸相との間では二国間航空協定への署名を行った。

- 7日 アッセルボーン外相は、欧州評議会閣僚委員会に参加し、トルコのチャブシオール外相と会談を行った。

- 9日 ベッテル首相は、ベルリンにてメルケル首相、ミッシェル・ベルギー首相、ヨハニス・ルーマニア大統領と16日のブラティスラバ非公式首脳会合のための準備協議を行った。

- 11～13日 ベッテル首相がイスラエル及びパレスチナを訪問。イスラエルでは、ナタニエル首相との二国間会談、Fintech 関連セミナーへの出席、ルクセンブルク大学とヘブライ大学の協力協定署名式への参加など。パレスチナにおいては、ハムダラ首相とバイ会談。

- 13日 アッセルボーン外相は、露のラブロフ外相の招待でモスクワを訪問し二国間の修好125周年、シリアやウクライナを中心とする国際情勢、EU及びNATOとロシアの関係などについて協議。

14日 アセルボーン外相は、ベラルーシのマケイ（Mr.Vladimir Makei）外相の招待でミンスクを訪問。

当国のメディアにおいて、9月13日付ドイツのディ・ヴェルト（Die Welt）紙に掲載されたアセルボーン外相がハンガリーを非難したインタビュー記事に対し、各方面から非難が寄せられた。

19～23日 ベッテル首相は、ニューヨークで行われた第71回国連総会に出席し、北朝鮮の核ミサイル使用に対する非難を含む一般討論演説を行うと共に、移民に関する会合では副議長を務めた。

22～23日 アセルボーン外相は、ブラティスラバにおいてEUの非公式外務・貿易理事会に出席。

26～27日 アセルボーン外相は、ウッドハウス（Mr.Michael Woodhouse）移民・予算労働大臣の招待でニュージーランドを訪問し、ワーキングホリデーに係る協定への署名を行った。

28～30日 アセルボーン外相は、オーストラリアのホーク（Mr.Alex Hawke）移民・国境保全大臣の招待でシドニー及びキャンベラに赴き、ワーキングホリデーに係る協定署名を行うと共に第一次世界大戦にて戦死した兵士を弔った。

2 社会・大公宮

12日 当国において初めての無償の公立国際学校（小中高課程）が南部のDifferdangeに開校（授業は英語及び仏語）。

16日 ジャン前大公は、サン・ミッシェル協会において当国の軍音楽隊長及び作曲家であったノルバート・ホフマン（Mr. Norbert Hoffmann）生誕100周年を記念したコンサートに出席。